

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市向陽台児童館
2 指定管理者	公益財団法人仙台ひと・まち交流財団
3 指定期間	令和2年4月1日から令和7年3月31日まで
4 施設の利用状況	《利用者数》 19,520人 (前年度比 61.0%) 令和元年度 31,974人 平成30年度 34,613人 平成29年度 39,124人 《事業》 児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業
5 収支の状況	《費用》 ()は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 37,346 千円 (40,380 千円) ・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円) 《収入》 ・ 使用料収入 0千円 (0千円) ・ その他収入 0千円 (0千円)
6 利用者の声	《実施状況》 利用者アンケート、児童館運営委員会、児童クラブ保護者懇談会を実施。

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議、チェックシート等で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	30/30
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	23/23
IV サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行、ホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	児童クラブにおいては、子ども達が安心して過ごせる生活の場を整え、学校を中心に各関係機関と連携して育成支援に取り組んでいる。また、乳幼児親子向けの行事開催や交流の場の提供により子育て家庭を支援すると共に、小中高生に対して、発達段階に応じた遊びの指導や活動支援を行っている。今年度においては地域との交流事業が多く休止されたが、日頃の情報交換や様々な工夫を凝らした事業で地域連携の保持に努めている。	18/18

三 評価総括

《指定管理者（公益財団法人仙台ひと・まち交流財団）による自己評価》
<p>魅力ある活動と多くの出会いがある児童館を目指して、一人ひとりの利用者との関係を大切にしながら、地域と連携し活動を提供して参りました。PR活動にも重点を置き、利用者の新規開拓にも努めてきました。</p> <p>乳幼児親子事業は、特にあかちゃんの児童館デビューに力を入れ、定例行事「ひよこちゃん」には、年間通して多くの参加が得られました。定例行事や幼児クラブ、ママの自主企画「ママのハッピープラン」の活動では、親子同士の交流を大切に、お友だち作りを支援しています。また、乳幼児専用の遊び場「集会所」「すまいるテラス」の環境も整え、いつでも安心して利用していただけるようになりました。</p> <p>小学生事業は、「あそびのポケット」やダンス活動、スタッフ活動等を通して、多様な遊びや異年齢を含む多くの友だちとの交流を提供して参りました。また、プレ小学生へのPRを目的に、年長児親子を招いた「青空カレーパーティー」を実施し、親子に小学生や高校生、ボランティアさんとの交流等、児童館の魅力を伝えました。その他、地域と連携した行事や高齢者施設の訪問等の活動を充実させ、新規のボランティア開拓にも努めました。多様な活動、異年齢、異世代との交流は、子どもたちの心豊かな成長につながっています。</p> <p>中高生事業は、年間を通してボランティア活動を支援し、社会経験の場を多く提供することができ、異年齢、異世代交流の機会にもなっています。</p> <p>4年目の「地域カルタ制作」では、読み句募集に幅広い年代から応募があり、2作品を採用しました。中学校美術部に絵札制作を、地域の方に読み札制作を依頼するなど、地域の様々な人たちが関わって制作が進められています。</p> <p>地域の多大なご協力により充実した活動を提供すると共に、活動を広く地域にPRすることができたと評価しています。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>令和2年度は、コロナ感染症の影響で緊急事態宣言が4月に発令され、小学校が5月まで休校となったが、休校中も児童クラブの受け入れを行った。この間、乳幼児親子の自由来館及び小学生の自由来館を休止していたが、その後、乳幼児親子の自由来館は6月から平日午前のみ再開し、小学生の自由来館は10月から土曜日のみ再開した。感染症対策のための参加人数の制限や環境の工夫を行うなど様々な配慮と努力を要した児童館運営となった。</p> <p>児童健全育成事業では、おうち時間の充実に向けて児童館から発信していきたいという職員間での共通意識のもと、「親子で挑戦」を開催し、コマ、編み物、ボードゲーム等に取り組む親子交流の機会を提供し、家庭取り組みに繋げて好評を得た。例年、年長児を児童館に招待し児童館への親しみを持ってもらおうと行事を企画していたが、今年度は感染症予防の観点から中止となってしまったことも配慮し、参加を年長児からとした。また、こうした遊びは日常的に児童クラブの子ども達が楽しみながら目標にむけた取り組みを行っており、日々の遊びへの意欲にも繋がった。他にも児童館へ来ることが出来ずにいる地域の子どものために、園庭で栽培した数珠玉でアクセサリーキッドを作り配布したりなど、子ども達への豊かな遊びの提供に努めた。</p> <p>子育て家庭支援事業においては、幼児クラブも月に2回ほど開催し、季節の遊びや工作など様々な内容で充実を図っており、毎回、好評であった。また、乳児向けの行事「ひよこちゃん」の定期的な開催や子育て中のリフレッシュを兼ねた「ベビーマッサージ」や「ヨガ」、「子育てマネー&セミナー」の開催など保護者のニーズに応じた多彩なプログラムを提供し、多くの乳幼児親子を支援するための環境作りに努めている。</p> <p>地域交流推進事業では、五年に渡り読み札の募集や中学校美術部との協力などで取り組んできた「地域カルタ」は、募集の最終年を迎えて、仕上げの段階へと入っている。今後の製作が地域交流を深め、活動の幅を広げることに繋がるだろうと期待される。</p>	S

四 その他特記事項

（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：子供未来局子供育成部児童クラブ事業推進課